



＜流山憲法集会＞ 集団的自衛権行使で 「戦争する国」になる日本

講師 **金子勝**さん

(立正大学教授
憲法学・政治学)

5月17日(土)

流山市北部公民館ホール
開場13:30 開演14:00



資料代500円

駐車場が狭いので乗用車はできるだけ避けるか相乗りなどをお願いいたします。

海上自衛隊員自殺事件 いじめ認定 組織的隠蔽断罪

2004年10月27日に海上自衛隊の護衛艦「たちかぜ」配属の21歳(当時)男性1等海士が飛び込み自殺。自殺の原因は先輩自衛官からの暴行や恐喝であり、それを見逃していた組織に問題があるとして、遺族が国と先輩自衛官を相手に訴訟を起こしていました。

一審の横浜地裁は、自殺の原因を認めたものの約1億5000万円の賠償請求に対して計440万円の賠償を命じたに留まりました。

海自ではこの件で「たちかぜ」乗務員に対してアンケートを実施しましたが、遺族からアンケートの開示を求められると、「アンケートは破棄した」と返事。ところが内部告発によりアンケートが保管されていたことが発覚し、海自幹部が謝罪。今回の東京高裁の判決では、横浜地裁の判決に加え、「自殺は予見可能だったこと」、「組織的なアンケート隠ぺいがあったこと」も認めた上で、約7350万円の賠償を命じました。

ここ10年間の自衛官における自殺者数は、829人、毎年80人くらい自殺している。他の省庁の倍以上だという。自らの命を守れない人が国を守れるだろうか？

内部告発した当の3等海佐を規律違反処分を開始すると聞けばなおさら組織の在り様が疑問になります。

日米首脳会談異例の展開

T P P交渉の大詰めかと思われた安倍オバマ会談。土壇場までまとまらずオバマ大統領の離日直前まで共同声明が出せなかった。徹夜交渉で消耗した甘利大臣の様子にアメリカ言いなりでない安倍内閣を演出したのかとも思われるが、尖閣列島をアメリカが防衛すると言質にこだわった結果、アメリカ側にすっかりT P Pの実利を取られたとの報道もある。T P Pが闇の交渉であり不明な部分が多いが、安倍首相の強引さの結果、日米関係に微妙な軋みがあることも事実のようです。

辺野古の海に異常な警備 強引に新基地建設

安倍政権が沖縄県民の意向を無視して進めている辺野古の新基地建設。県民の長年の抵抗に懲りた政府側は異常な規模の警備を進め、県民の抗議締め出しを図っています。

防衛省沖縄防衛局が名護市辺野古への米軍新基地建設に向けて、海底ボーリング調査などを強行するために延べ1252隻の警戒船の動員を見込んでいることが分かりました。

海底ボーリング調査は2004年に着手されたものの、基地に反対する住民らがカヌーなどで海上抗議行動を展開し、05年に中止に追い込まれました。警戒船の大量配置は抗議行動の封殺を狙うものです。

警戒船の目的を若宮健嗣防衛政務官は「工事が順調に安全に行われることを確保するため」などと説明。3業務合計で作業期間が延べ561日間、警戒船が延べ1252隻にのぼるといい、「仕様書」によると、3業務はボーリング調査のほか、サンゴ類の分布状況やジュゴン監視装置に関する調査を行うもの。完了期限はいずれも11月末となっており強行の姿勢です。

大雪でダウンしたP3C

2月の大雪の際、厚木基地の整備用格納庫(神奈川県大和市)で発生した屋根の陥没で、防衛省は25日、海上自衛隊のP3C哨戒機など6機中4機(調達総額約370億円)が、胴体などの損傷がひどく修復不能と発表した。保障は税金？

